

■まちづくり推進会議

共助の仕組みを提言

市民と市が協働して地域課題の解決に向けた検討を行う、市まちづくり推進会議は2月18日、「全市民的な見守り、支え合い、助け合いの仕組みづくり」についての提言書を市に提出しました。

この提言は、高齢者や障がい者などを含めた全市民が安心して暮らすために、市・区・社会

福祉協議会・事業者などがそれぞれの立場で実施することが望ましい策などがまとめられています。

市には、全市民的な制度が分かるガイドライン・冊子の作成や区が主体となった活動の支援体制の確立などが求められました。また、区には隣近所や隣組などによる声掛け、社会福祉協



提言書を提出する田村会長（写真左）

議会には障がい者など要支援者の活動をサポートするネットワークづくりなどが提案されました。

田村浩会長は「提言を生かし、活力あるまちにしてほしい」と話し、宮澤市長は「提言をしっかり受け止め、実行性のあるものにしていく」と話しました。

■安曇野の玄関口

美化活動に協定締結

信州ふるさととの道ふれあい事業（アダプトシステム）の協定調印式が2月22日、県安曇野庁舎で行われ、安曇野IC周辺道路の美化活動に関わる協定を、寺所歩こう会（花岡伸泰代表）、県・市の3者が結びました。

この協定は、平成27年からウオーキングを楽しみながらごみ拾いや除草作業などを行う、同

会の美化活動に対して、県は資材提供や傷害保険の加入、看板設置を、市は両者の連絡調整を行うことが定められています。

協定を結んだ範囲は安曇野インター交差点から見岳町交差点までの約1・2kmと安曇野インター交差点から安曇野インター北交差点までの約300m。多くの観光客が通行する安曇野の

玄関口であり、本年は4月25日から6月16日まで「信州花フェスタ2019」が開催されることから、良好な環境保持に3者が協力して取り組みます。

寺所歩こう会の花岡代表は「身の引き締まる思い。皆さんと協力して頑張りたい」と抱負を話しました。



美化活動に関わる協定を調印

■業務時間外の災害を想定

対策本部設置訓練

職員の自主参集による災害対策本部設置訓練が2月17日、市役所大会議室で行われました。

午前8時に市内で震度7の地震が発生したことを想定し、災害発生メールを受信した職員が自主的に参集。到着した時間や経路を申告した後、到着順に渡されるミッションカードに従い机やホワイトボード、コピー機

などを用意し、災害対策本部室の設営を行いました。

その後、災害対策業務を行う班ごとに分かれ、被害情報の整理や対応方法を確認しました。参加した職員は「対応を検討している間にも次々と新しい情報が入ってきて、情報の整理が大変だった。実際の現場はもっと情報錯綜すると思うので、



被害状況を地図に書き込む職員

事前にできることはしっかり準備して対応したい」と話しました。

市では、市民の安全を確保するため、災害時に全職員が迅速な対応ができるよう、今後も同様の訓練を複数回実施していきます。

新ごみ処理施設建設工事 起工式が行われました

穂高広域施設組合（安曇野市・池田町・松川村・生坂村・筑北村・麻績村で構成）の新ごみ処理施設の起工式が2月21日、現施設南側隣接地で行われました。

新施設は1日最大120トンを処理するほか、消費電力を賄う蒸気タービン発電機を備えるなど、環境に配慮した先進的な設備を備えます。工事完了は2021年2月を予定しています。

新施設の概要は広報あづみの11月21日発行号（No.281）または穂高広域施設組合HPをご覧ください。



新ごみ処理施設建設地

市民活動サポートセンター （くるりん広場）が本庁舎に移転

穂高支所西棟の市民活動サポートセンター（くるりん広場）が、4月1日から本庁舎内に移転します。

引き続き協働のまちづくり推進の拠点として、情報の収集・提供、相談、協働のコーディネート、交流、人材育成、学びの場等の機能を担います。移転後当面は、地域づくり課（2階4番窓口）と1階に設ける情報コーナーを中心に事業を展開します。

◎移転に伴い、連絡先とHPアドレスが変更になります。

4月1日（月）以降の連絡先 ☎71・2013（直通）

✉kururin@city.azumino.nagano.jp

URL <http://www.city.azumino.nagano.jp/site/azumino-sk/>



移転先となる市役所
地域づくり課窓口